

共生と共創のまちづくり
もばら市民塾 2013
単科講座
「マルシェ文化と市民協働」

まとめ

9/27 金
18時～21時
茂原市役所
1階 102会議室

第一部：18時～19時10分

「マルシェ文化と市民協働」

Mobara みらい応援団

代表 齋藤 由子氏



第二部：19時20分～20時10分

「市民参加のまちづくり」

茂原市自治基本条例を考える市民の会

代表 北田 豊氏

第三部：20時20分～21時

「まちづくりワークショップ」(対話と交流)

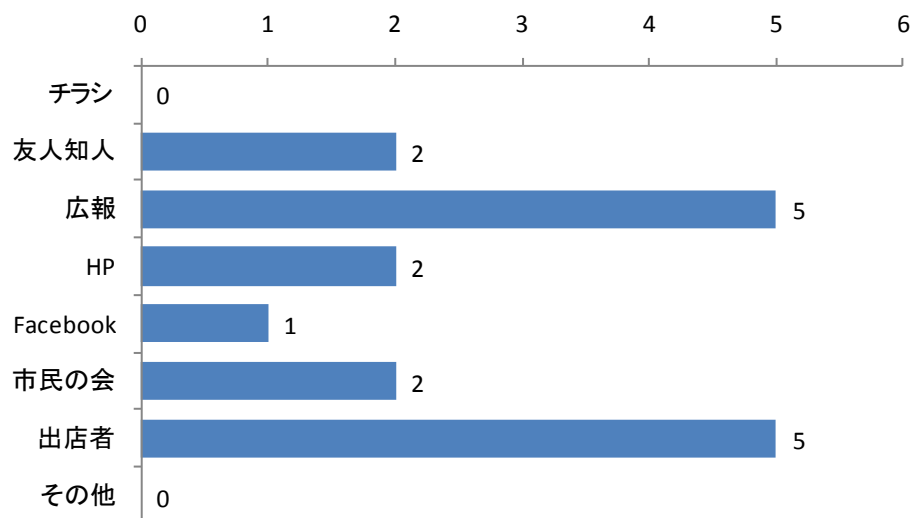


参加者 28名

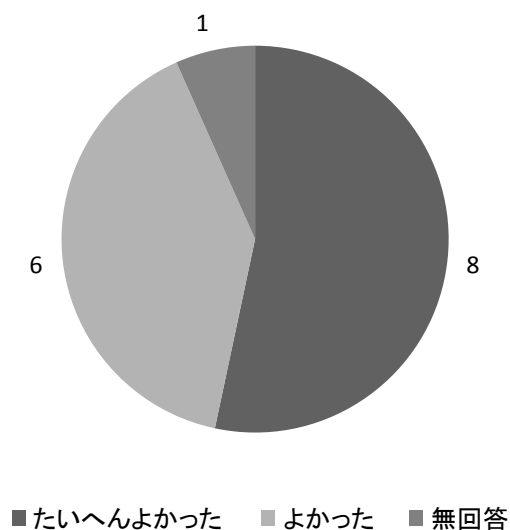
アンケート回収数 15部

1. 参加者アンケート結果

- ① 「もばら市民塾単科講座」が行われることをどのようにして知りましたか？
(複数回答)



- ② 「第1部 マルシェ文化と市民協働」の内容はいかがでしたか？

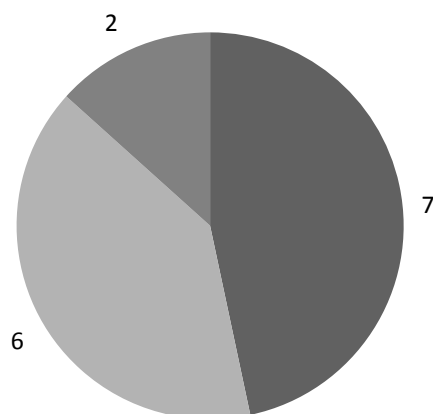


主な自由記述

- 若い力の発想で、茂原に活力を与える発信源となることが望まれる。
- マルシェにおける思いがとてもわかりやすく伝わってきました。私は茂原市に引っ越してきて1年になり、自然と農業の盛んなこんな住みよいまちにこれから住んでいく喜びがあります。その中で、このように共生と共創のまちづくりとしてマルシェを行うこと、もっともっと子どもを育てやすいまち、お年寄りも子どもたちも住みやすいまちにすることは素晴らしいことと思います。

- 「茂原まるまるマルシェ」の目指すところがおおよそわかった。このような講座を繰り返せば、マルシェのファンを増やせる。
- マルシェの意味がよくわかりました。熱っぽい話がびんびん伝わってきました。エネルギーでした。
- アンティークフェアとのコラボレーション、駅前シャッター通りの活用
- 茂原市の活性化の一つの手段として、素晴らしい取り組みだと思った。より多くの関係機関と連携し、さらに集客し、茂原を盛り上げてほしいと思いました。
- 共感しやすい説明だったので。
- パワーポイントがあり分かりやすかったです。応援団さんの熱意が伝わってきました。
- 新しい知識が得られたことで、自分の思考の幅が広がった気がします。
- 外からではわからない情報や思いがよくわかりました。このようなマルシェが茂原のあちこちでできて、人々のコミュニケーションが活発にできるものになるといいと思います。

③ 「第2部 市民参加のまちづくり」の内容はいかがでしたか？



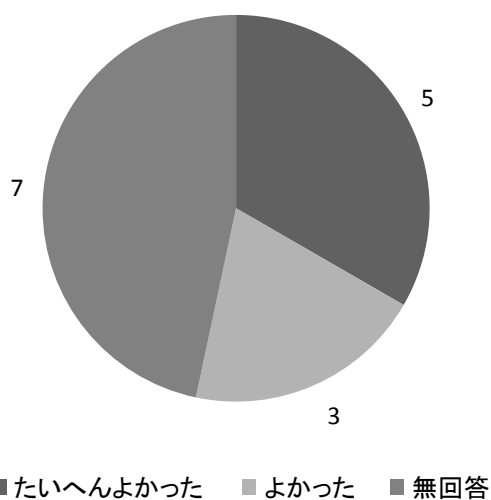
■ たいへんよかった ■ よかった ■ あまりよくなかった

主な自由記述

- 他の市より転居してまいりましたが、茂原市の財政状況と現状を理解することができました。今後の課題等について、明確に説明されており、参考になりました。
- まちづくり条例とは？文章ではなかなか頭に入らないが、話を聞いて理解が深まった。
- 市民参加のまちづくり、とても同感です。きめ細かな提言、市民の会の方の説明が分かりやすく、実現できたら素晴らしいと思います。
- まちづくり条例の必要性がよくわからなかった。わかったようなわからない説明。長い！
- 市民の主体性を高め、市民参加が推進することは素晴らしいと思います。

- 評価のための市民委員会の人選が重要。市の状況に関する各種講座の参加者を対象として、評価が十分できることを条件。
- 内容はすごいと思いましたが、時間が詰め詰めだったので大変でした。
- 条例についての説明以外にも、今後の活動など明確な方向が知りたかった。
- 日頃、知ることができない内容でした。住民である責任を考えさせられました。

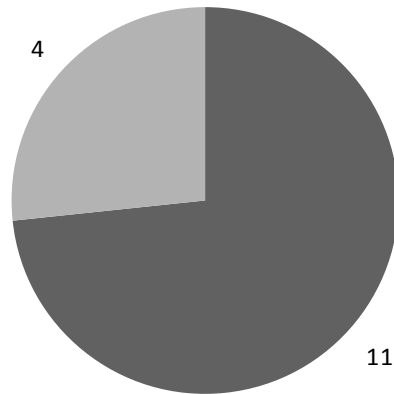
④「第3部 まちづくりワークショップ」の内容はいかがでしたか？



主な自由記述

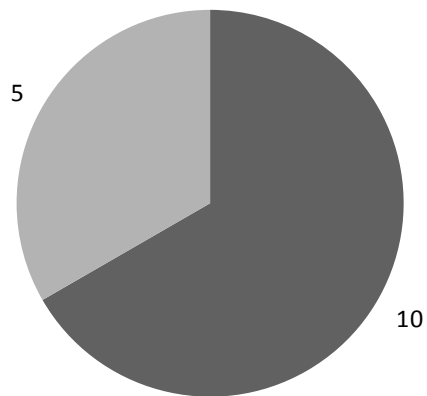
- 参加者同士の情報交換ができて良かった。
- 大変充実しました。
- 初めて会った方との話し合いというのは、刺激になり、アイデアが出ます。
- 皆さんが活発に意見交換されていて、楽しかったです。

⑤ 住まい



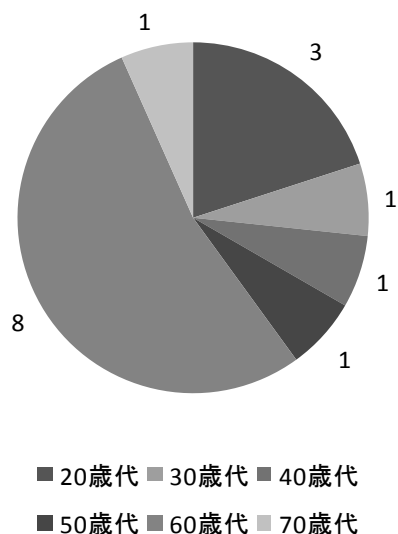
■ 茂原市 ■ 市外

⑥ 性別



■ 男性 ■ 女性

⑦ 年齢



2. グループワークでの主な意見

テーマ：市民協働・市民参加のまちづくりに必要なこと

グループ発表

(1 班)

茂原はブランド力がある。茂原という名前だけで、長南や睦沢、場合によっては久留里の方まで名が通っており、七夕まつりが有名で、ハレの日には茂原に来ていたというお年寄りの話もある。今はそのようなことがなくなっている。また、茂原は交通の要衝であり、3つのブロックに分けられる。東郷や東部台の方面、南部の方面、北部の方面。1班としては、茂原のブランド力をもう一度見直そうという話になった。

もう一つには、茂原には老舗が多い。ファミレスと比べると、残念ながら外観は劣るが、昔からの「茂原の味」として頑張っている店が多い。ところが、ほとんどの茂原の人はそれを知らない。インターネットで見ると、茂原市では黒船が一番であり、実際に行ってみると評判どおりである。行政とコラボして、新しい目で発掘して、茂原市民の皆さんに知っていただき、伝統ある地元の店を使っただくところから始めてはどうかという話になった。

そのためには、市の広報を使って、茂原にはこのような店があるという紹介をしたり、1年間の結果でランキングをつけたりするなどすれば、行政が特定の店に加担することなく公平な立場で、市民の皆さんが選んだ結果として発表できるのではないかと思う。そのような場所は茂原でもユニークな場所になり、活性化になると思う。

もう一点、図書館が耐震化で廃止せざるを得ないと聞いたが、とても後ろ向きな話である。行政のアイディアの枯渇という話も出ていたが、九州の方では、図書館の再生ということで、TSUTAYA やスターバックスが入り、ニュービジネスとして行われているところがある。今まで使わなかったようないろいろな人が出入りすることになり、活性化して、本屋もスターバックスも売り上げ

に繋がる。お客さんもコーヒーを飲みながら、新品の本を借りてきて、よかったら買うということができる。図書館もそれに合わせて新しい本を仕入れるなどしている。予算がないからと言ってしぼんでしまうのではなく、民間とそのような形で協働すれば、お金を出さずに知恵を出して場所を提供すればかなりのことができる。

(2班)

茂原は子どもの医療費が高いらしいが、そういう情報がほしいので、情報の窓口の一本化が必要である。子育て世代に関しては、あそび場も少なく、保育園などの情報も欲しいという話が出た。

また、茂原公園などの保守や清掃などについて、市民が率先して取り組み、市がそれを支援するということをすべき。問題があることを市の責任にせず、自分たちで取り組むべき。それが市民の協働・参加であるという話が出た。

議会の公開については、ホームページで見ることができるようになればいいのではないかという話も出た。

市役所に行くきっかけがないという話も出たので、明確に情報を得られるようなところにしてもらえればと思う。

マルシェのコラボという話は他でも出ると思うが、私たちの班でも出て、茂原市民が楽しめるものになるとよいという話になった。茂原にもともとある六斎市とマルシェのコラボができないかという話もあった。地元の商店のPRや協力をしながら、まちを活性化できたらいいという話も出た。

(3班)

3班はたまたま Mobara みらい応援団、市民の会、茂原を元気にする会、NPO 法人長生地域まちづくりステーションといういろいろな団体の代表が集まった席になった。

最初はどうしたら地域と一緒に市がやっていけるかという話で、市が利益を上げることができないので、利益が上がるようなことには制限があるということや、市民協働の情報が伝わりにくいという話が出たが、そもそもその前に、情報の共有ができていないのではないかということになった。

いろいろな団体があって、いろいろな活動をしているが、その団体自体の横のつながりが薄く、本当ならばいっしょにできたのではないかというようなことができていない。それを団体登録や市に地域活性化スペースを作るなどして、同じ活動をしている人が分かるようにすることが先ではないかという話になった。

今回、いろいろな人がいろいろなコラボという話があったが、この話があること自体知らなかったし、仲間たちもみんな知らず、ここに来たのも初めてであった。皆さんがこのように集まることができ、情報が一か所で見える場所をつくってほしいという結論に至った。

ワークショップでの主な意見

- 情報窓口の一本化が必要（子育て世代の声として）
- 情報共有・一本化が今後の課題
- バラバラに情報がある。情報共有の手段が必要

- ボランティア団体の登録
- 地域活性化活動スペースを市役所内に設ける
- コーディネーターと情報の統一が必要
- 市民協働の情報が伝わりにくい
- 市で行うイベントに個人が入りにくい
- 茂原市民の活動の場を広げていく
- 市民が参加できる情報を。
- 議会の公開。インターネットを見ることができない世代への情報、市民だよりのような広報。
- 茂原のブランド力を活用する（レストラン、プロショップなど）
- 地元の魅力の情報発信（店のランキングなど）
- 茂原の市（六斎市）はマルシェとコラボできるのでは？伝統的な市を伝える・残すことも大切
- マルシェとのコラボで、茂原市民がもっと地元の良さを感じられるのではないか。
- 中心部と郊外を結び付けるインフラ整備等
- 市内は大きく3つのブロックに分けられる
- 街灯の設置、見守り活動などの防犯
- 民間企業と行政とコラボして施設運営（例：図書館運営等）
- 地元の飲食店を活用する
- 子育て世代のサポート、遊び場所。保育園、補助、お祝い金、メリットの明確化
- 茂原市の医療費は高い。情報がほしい。
- 茂原公園…市の支援＋ボランティア
- 道を市民がきれいにする
- 地元の商店のPRに市も協力をしてはどうか。地元の活性化につながるのでは。